

# 植物ゲノム・遺伝子源解析センター

## 月例セミナー

とき 平成25年10月18日(金)  
16時～17時  
ところ 農学部 DS304講義室

### 題目

「甘果オウトウの二雌ずい形成に関する研究」

### 講師

農学部教授 別府 賢治 博士

### 概略

甘果オウトウの主産地は、山形県をはじめとする冷涼な地域であるが、近年、西南暖地でも甘果オウトウの栽培が試みられている。しかしながら、暖地では二雌ずい形成による双子果の多発や結実不良などが栽培上の大きな問題となっている。また、地球温暖化により主産地でも近年同様の問題が生じている。

演者らは、甘果オウトウの二雌ずい形成について、暖地や主産地での発生様相を調べるとともに、環境制御下での実験により、発生要因を調査してきた。また、二雌ずい形成の抑制技術についても検討してきた。さらに、二雌ずい形成に関わる遺伝子についても調査を進めている。本講演では、これらの研究内容について紹介する。

### 参考文献

Beppu, K. and Kataoka, I. : Artificial shading reduces the occurrence of double pistils in 'Satohnishiki' sweet cherry, *Scientia Horticulturae* 83, 241-247 (2000).

Beppu, K., Ikeda, T. and Kataoka, I. : Effect of high temperature exposure time during flower bud formation on the occurrence of double pistils in 'Satohnishiki' sweet cherry, *Scientia Horticulturae* 87, 77-84 (2001).

別府賢治, 矢内原 碧, 池田貴之, 片岡郁雄: 植物ホルモンが甘果オウトウの多雌ずい花の発生に及ぼす影響, *園芸学研究* 6, 571-576 (2007).

Beppu, K. and Kataoka, I. : Studies on pistil doubling and fruit set of sweet cherry in warm climate, *Journal of the Japanese Society for Horticultural Science* 80, 1-13 (2011).

Beppu, K., Sumida, H. and Kataoka, I. : Sweet cherry MADS-box genes 'PaAG' and 'PaSHP' homologous to class C floral identity genes, *Acta Horticulturae* (in press).

主催：香川大学農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター

(<http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/phytogene/index.html>)